

解 答 速 報



医学部受験予備校

関西医科大学 一般選抜前期

英語

医特

I

- (1)-(q) (2)-(m) (3)-(g) (4)-(h) (5)-(e) (6)-(f) (7)-(a) (8)-(o) (9)-(r)
(10)-(l) (11)-(j) (12)-(b) (13)-(d) smile (14)-(d) turmoil (15)-(d) solid
(16)-(c) imitate (17)-(d) revival (18)-(c) hypothesis (19)-(b) reproducibility
(20)-(d) rigor (21)-(c) pen (22)-(c) landscape (23)-(b),(d),(e),(f)

II

- (24)-(b) False (25)-(b) False (26)-(a) True (27)-(b) False (28)-(a) True
(29)-(a) balancing (30)-(c) very much (31)-(a) a certain period of time
(32)-(b) affected (33)-(d) taking part in some activity
(34)-(b) down and turn inward (35)-(e) published in April
(36)-(d) personal insights (37)-(a) angry (38)-(c) down what they learn
(39)-(f) your beliefs (40)-(a) either completely good or completely bad
(41)-(c) what genre of books you like
(42)-librarian, therapist(s), college professor, author
(43)-bibliotherapy (44)-what's making them have the reactions they're experiencing
(45)-(should) keep (46)-points of view (47)-less

III

1. Before mid-15th century : the を mid-15th century の前に入れる
2. with hand : with を by に変える
3. Those process : Those を This に変える
4. was able : was を were に変える
5. individual letter : letter を letters に変える
6. could produce : produce を be produced に変える
7. available as ever : as を than に変える
8. spreaded を spread に変える
9. of printing press : the を printing press の前に入れる
10. Ordinarily people : Ordinarily を Ordinary に変える
11. lead to : lead を led に変える
12. medical : medical を medicine に変える
13. accessibility : accessibility を accessible に変える
14. is sharing : sharing を shared に変える

【講評】

2026年は大問Ⅰ～Ⅲの3問構成で、Ⅰ・Ⅱは長文を素材にした語句補充や語彙同義、真偽・要約（複数選択を含む）中心、Ⅲは英文エラー訂正という新傾向で、「読んで選ぶ・直す」タイプのセットでした。

テーマはⅠが心理学（幸福研究と再現性問題）、Ⅱが読書療法と、いずれも一般向け論説文で、難語で押すというよりも、因果・対比・限定（yet / not yet / doesn't mean など）の読み落としが失点につながりやすい構成です。

Ⅰは話の流れを正確に追えるかが鍵です。Ⅱは内容の正誤、語句解釈、整序・抜き出し系が混在し、根拠を確認するスピードが得点差になります。Ⅲは冠詞・一致・受動・比較・品詞など基本事項の総点検で、見落としがそのまま失点に直結しました。

過去問（23年～25年）と比べると、今年は「自由英作文」の枠が見当たらず、全体としては取り組みやすい（易しめ寄り）印象です。その一方で、選択・訂正中心の年ほど細部の取りこぼしが合否差になりやすい点には注意が必要です。目標得点率は（目安）：勝負圏＝75%前後／安全圏＝80%前後と言ったところでしょう。

対策としては、長文では段落ごとの役割（主張・根拠・例外）を短くメモ化して根拠箇所へ素早く戻れるようにし、Ⅲは冠詞や一致、受動や比較、語形などの頻出ポイントを一定の手順で点検する練習が有効です。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町FC校 TEL：03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 医学部特訓塾 TEL：03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	